

# 東京都の水生植物相の変遷

## はじめに

### 東京都の生物多様性

生物多様性地域戦略『東京の将来像』

⇒ 改定作業が進められている

### 東京都内の陸水域 (河川・用水路・湧水等)

#### 都市域の貴重な自然環境

**水生植物** (1992~96年調査;山崎・津久井1997)

ミズニラ・ヒルムシロ：都内で最も**絶滅が危惧**される種

その他、生育地・現存量共に少ない**希少種**も複数

**緊急対策外来種**：生育地は限定的

### 本研究の目的

都内陸水域の水生植物分布とその変遷に関する知見の集積

生物多様性保全の基礎となる水生植物生育に係る情報を

更新するとともに、1990年代からの変遷を検討

## 方法

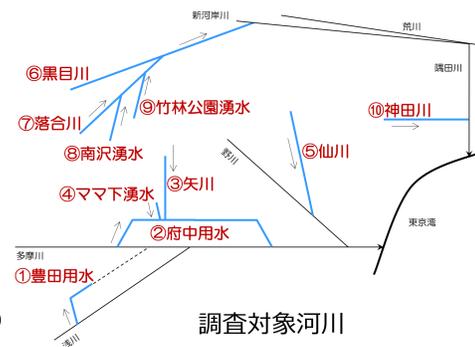
### 調査対象河川

1990年代調査で特徴的な10水域を抽出

多摩川水系：豊田用水、府中用水、矢川、ママ下湧水、仙川

荒川水系：黒目川、落合川、南沢湧水、竹林公園湧水、神田川

(1990年代調査出現種(40種)の82.5%(33種)をカバー)



### 調査方法

期間：2015年5月～10月 頻度：概ね1回/月

- ・現地での観察により種同定
- ・同定が困難なものは標本を持ち帰り同定
- ・同一水域で複数地点を調査した場合もあり
- ・同一水域で複数回調査した場合もあり

希少種の消失、外来種の分布拡大を中心に調査結果を整理

## 調査結果

### 対象水域における水生植物出現種数の変遷

1992~1996年：13科21属33種

2015年：14科19属30種 (消失13種、新規加入10種)

多摩川水系：出現種数減、荒川水系：増加・同数の水域多

⇒ 水系ごとに増減の傾向が異なる



### 希少種 (東京都版RL記載種)

#### 6種が対象水域から消失

セキショウモ(EX)、ミズニラ(EN)、ヒルムシロ(CR)、コウガイモ(CR)、ヘラオモダカ(EN)、マコモ(VU\*)

#### その他の希少種も生育水域が縮小

ミズハコベ(CR)、ホザキノフサモ(CR)、エビモ(CR)、カワヂシャ(VU)、ミクリ(VU)

#### 3種は1990年代と同水域で生育を確認

サジオモダカ(EX)、ササバモ(EN)、ナガエミクリ(VU)

東京都RL (2020) の地域ごとの評価の内、最も危険度の高いカテゴリーを記載 ※は東京都RDB (2013)

EX：絶滅、CR：絶滅危惧IA、EN：絶滅危惧IB、VU：絶滅危惧II



### 外来種 (我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種)

#### 新たに5種の侵入を確認

オオフサモ (特定外来生物)、キショウブ、ホテイアオイ、メリケンガヤツリ、シュロガヤツリ

#### 緊急対策外来種の分布拡大

オオカワヂシャの分布拡大 (1水域→7水域)

オオフサモの新規加入 (3水域)

⇒両種は湧水池、湧水河川へも侵入

南沢湧水 (オオカワヂシャ)

ママ下湧水 (オオフサモ)

#### 人為的植栽の可能性がある種も

キショウブ、シュロガヤツリ



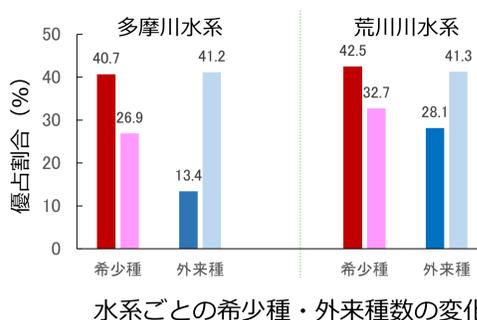
### 希少種および外来種の出現状況の比較

東京都RL	絶滅	絶滅危惧			我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種																		
		IA	IB	II	特定外来生物		緊急対策外来種		重点対策外来種														
環境省RL	セキショウモ	サジオモダカ	ヒルムシロ	ミズハコベ	ホザキノフサモ	エビモ	ミズニラ	ヘラオモダカ	ササバモ	マコモ	カワヂシャ	ミクリ	ナガエミクリ	オオカワヂシャ	オオフサモ	コカナダモ	オオカナダモ	オランダガラシ	キショウブ	ホテイアオイ	メリケンガヤツリ	シュロガヤツリ	
豊田用水	1992-1996	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
府中用水	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
矢川	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
ママ下湧水群	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
仙川	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
黒目川	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
落合川	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
南沢湧水	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
竹林公園湧水	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■
神田川	1992-1996													○	○	■	■	■	■	■	■	■	■

希少種の消失：1990年代に比べほぼ半減 (14種→8種)

緊急対策外来種の分布拡大：オオカワヂシャ…1水域→7水域

オオフサモ…0水域→3水域



1990年代希少種の優占割合は4割程度

現在外来種の優占割合が4割程度

適切な水域管理が必要

## まとめ

都内陸水域の水草の出現種数は、1990年代と比べ多摩川水系で減少、荒川水系では同程度であった。両水系ともに希少種数は大きく減少していた。一方で、外来種は増加しており、希少種との入替わりが確認された。生物多様性保全に向けた適切な水域管理の必要性が示された。